

**「令和8年度富士山麓エリアにおける高付加価値なインバウンド観光地づくり事業支援業務委託」  
【施策4「ヤド確保」】提案書評価基準**

1 評価基準

- (1) 出席した審査委員（以下、「審査委員」という。）は、下表の評価項目についてはA～E（1点～5点）の5段階で評価する。
- (2) 評価の考え方は、別紙「評価の視点」のとおりとする。なお、提案書に評価項目に該当する記載が無い場合は1点とする。
- (3) 最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、同位の提案が複数ある場合は審査委員の多数決により順位を決定する。
- (4) 最低評価基準の設定  
提案内容が不十分であるにもかかわらず受託候補者として選定されないことがないよう、次のとおり最低評価基準を設ける。
- ・総合得点による基準  
全ての評価項目の合計得点（満点100点）について、60点未満の提案は受託候補者として特定しないものとする。
  - ・提案内容に係る基準  
「2 提案内容」の評価点（70点満点）について、40点未満の提案は、総合得点にかかわらず受託候補者として特定しないものとする。

2 評価項目

評価項目及び着目点		配点	加重倍率	評価点
1 業務遂行能力		15		15（小計）
(1)類似事業の実績	類似業務の実績	5	-	5
(2)業務実施体制	人員体制	5	-	5
(3)業務実施スケジュール	実施スケジュールは妥当か	5	-	5
2 提案内容		35		70
(1)業務目的の理解度	・本事業のコンセプトや目的を十分に理解したうえで企画提案されているか。 ・WGとの連携及び協働を前提とし、他施策受託者と一体的に業務を実施する提案となっているか。	5	×2	10
(2)手法の妥当性	需給調査の調査結果や整理内容を施策1（商品造成・販売）をはじめとする他施策と連動する前提で整理されているか。 【4業務内容（1）①】	5	×3	15
	宿泊事業者が将来的な取組を検討する際、共通の土台となるような宿泊施設の底上げ整備計画の策定方針が提案されているか。 【4業務内容（1）②】	5	×1	5
	宿泊事業者を協議会へ積極的に巻き込む効果的な取り組みや、経営者の視点から高付加価値旅行者対応を捉え直す機会になる研修内容が提案されているか。 【4業務内容（1）③④】	5	×3	15
	FAMトリップ等を通じてコンシェルジュ等から得られる評価・改善意見を、ヤド施策に的確に反映させるための効果的な手法が示されているか。 【4業務内容（3）】	5	×2	10
	令和7年度に整理したヤドのロードマップを、令和8年度の調査結果、WGでの議論、FAMの評価等を踏まえてどのように見直し・更新するかの手法が明確に示されているか。 【4業務内容（4）】	5	×1	5
	ヤド確保計画をどのように整理・作成するかが具体的に示されているか。 【4業務内容（4）】	5	×1	5
	成果KPIは、業務目的に照らし、その達成度を適切に測定できる具体性・測定可能性を備えているか。 【4業務内容（1）⑤】	5	×1	5
3 価格点		5		5（小計）
見積価格	積算の根拠や委託費の総額は妥当か。	5	-	5
4 その他		5		10（小計）
特記すべき提案	目的実現のための独自提案など、特記すべき提案があるか	5	×2	10
				100（合計）

「令和8年度富士山麓エリアにおける高付加価値なインバウンド観光地づくり事業支援業務委託」  
【施策4「ヤド確保」】提案書評価基準

評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価					加重倍率	評価点(100点)
			A	B	C	D	E		
			5	4	3	2	1		
業務遂行能力	(1)類似事業の実績	類似業務の実績	本事業と関連のある類似業務実績が5件以上ある	本事業と関連のある類似業務実績が2~4件ある	本事業と関連のある類似業務実績が1件ある	類似業務実績があるが、本事業とは関連が薄いものに限る	類似業務実績が無い	-	5
	(2)業務実施体制	人員体制	特に優れており、万全の体制が組まれている	優れており、標準以上の体制が組まれている	妥当な体制である	十分とは言えないが、本業務の実施はできる	不安があり、本業務の実施が難しい	-	5
	(3)業務実施スケジュール	実施スケジュールは妥当か	十分検討されており高く評価できる	検討されており評価できる	検討されており妥当である	スケジュールに不安がある	スケジュールが整っていない	-	5
提案内容	(1)業務目的の理解度	・本事業のコンセプトや目的を十分に理解したうえで企画提案されているか。 ・WGとの連携及び協働を前提とし、他施策受託者と一体的に業務を実施する提案となっているか。	特に優れており、本事業の目的や必要性についての確に理解している	優れており、本事業の目的や必要性についてほぼ理解している	標準的であり、本事業の目的や必要性についてある程度理解している	やや不十分であり、本事業の目的や必要性についての理解度に不安がある	不十分であり、本事業の目的や必要性について理解していない	×2	10
	(2)手法の妥当性	需給調査の調査結果や整理内容を施策1(商品造成・販売)をはじめとする他施策と連動する前提で整理されているか。【4業務内容(1)①】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×3	15
		宿泊事業者が将来的な取組を検討する際、共通の土台となるような宿泊施設の底上げ整備計画の策定方針が提案されているか。【4業務内容(1)②】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×1	5
		宿泊事業者を協議会へ積極的に巻き込む効果的な取り組みや、経営者の視点から高付加価値旅行者対応を捉え直す機会になる研修内容が提案されているか。【4業務内容(1)③④】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×3	15
		FAMトリップ等を通じてコンシェルジュ等から得られる評価・改善意見を、ヤド施策に的確に反映させるための効果的な手法が示されているか。【4業務内容(3)】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×2	10
		令和7年度に整理したヤドのロードマップを、令和8年度の調査結果、WGでの議論、FAMの評価等を踏まえてどのように見直し・更新するかの手法が明確に示されているか。【4業務内容(4)】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×1	5
		ヤド確保計画をどのように整理・作成するかが具体的に示されているか。【4業務内容(4)】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×1	5
		成果KPIは、業務目的に照らし、その達成度を適切に測定できる具体性・測定可能性を備えているか。【4業務内容(1)⑤】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×1	5
価格点	見積価格	積算の根拠や委託費の総額は妥当か。	積算が細分化され、根拠も明確であり、高く評価できる	根拠は明確であり、評価できる	妥当である	根拠が曖昧である	根拠が著しく曖昧であり、事業遂行に不安がある	-	5
その他	特記すべき提案	目的実現のための独自提案など、特記すべき提案があるか	特に優れた独自提案である	優れた独自提案である	標準的な独自提案である	不十分な独自提案である	独自提案が無い	×2	10